

誰の家にもある使わなくなった傘。かつて持ち主にとって  
 無くてはならなかった筈なのに、忘れられ、玄関の隅にひっそりとたたずんでいる。  
 私はその傘たちを拾いだし、ばらばらにほどいた布を継ぎ合わせ、命を吹き込んだ。  
 色や大きさの違うパーツを、それぞれの傘の骨をたわめて縫い止める。  
 その様子はまさに、家族を繋ぎ止め、一つにまとめているかのようだ。  
 傘を開くと、その家庭の過去が蘇り、雰囲気がかがえる。  
 家族にその傘をさしてもらい、記念撮影をした。

岸かおる《傘 de Family》2009



想像してみよう

2025  
 5/31-6/15  
 11:00-17:00  
 ながらの座・座

5月31日(土)ー6月15日(日) ながらの座・座

11:00-17:00/月・水曜休/作家在廊日:5月31日、6月1日、14日、15日

入場料:一般 1,000円、学生 800円(小・中・高生無料)

主催:一般社団法人文化農場(ながらの座・座) design by maki yoshimura

きのこ雲2025/岸かおる

ZaZa

<https://nagara-zaza.net/>

# 想像してみよう

## きのこ雲 2025 / 岸かおる

ここ「座・座」に並べられた色とりどりのかわいいオブジェは全てお菓子でできています。

この不思議な形から何が想像できるでしょうか。

お菓子の下のプレートにある画像はある特定の場所を表しています。

これらのきのこ雲の下で何が起こったのか。想像してください。

——— 岸かおる

「ながらの座・座」は370余年を生き抜いてきた三井寺に関連する施設です。

空間であり、自然であり、それらが混じり合った生き物であり、舞台でもあります。

かってここで僧侶たちが歌を詠み、立ち寄った旅芸人たちも新たな出会いを楽しむ、

こんな環境が新たな何かを生み出したのかもしれない。

時がたってもこの想像力を刺激する座・座の環境をゆっくりお楽しみください。

きっと意外な何かにであうかもしれません。

——— ながらの座・座 橋本敏子

### 2025年5月31日(土)ー6月15日(日) ながらの座・座

11:00-17:00 / 月・水曜休 / 作家在廊日: 5月31日、6月1日、14日、15日

入場料: 一般 1,000円、学生 800円(小・中・高生無料)

主催: 一般社団法人文化農場(ながらの座・座)

後援: 滋賀県・滋賀県教育委員会 大津市・大津市教育委員会 文化・経済フォーラム滋賀



《in her midst — 彼女の世界》  
プリント紙、布、編み物、桐壺 2023



《reproduction I》ベビー服、背広 2017



《原風景 — 原発》(部分) さらし、コーヒー 2014

### 岸かおる

Kaoru Kisbi, Artist

美術作家。1956年広島市生まれ、広島市在住。京都工芸繊維大学で工業デザインを学び、卒業と同時に家庭に入る。3人の子育てを終えたのち、広島市立大学大学院で現代アートを研究し、制作を始める。2015年広島市立大学大学院博士後期課程修了、博士号(美術)取得。主婦の視点で様々な社会問題を問う。主婦のスキルを活かして、身近な素材を使い制作。主な個展に「継」(カモメのばあばあ、広島、2020)、「連」(ギャラリー交差611、広島、2018)、「兆し」(Gallery t、東京、2016)、「KINGSTON Fuji」(Toilet Gallery、KINGSTON、イギリス、2014)。主なグループ展に「方物 — 2024 亞洲當代雕塑展」(朱銘美術館、台湾、2024)、「Women's Lives 女たちは生きている — 病い、老い、死、そして再生」(ノースギャラリー、さいたま市、2023)「カナリアがさえずりを止めるとき」(広島市立大学芸術学部CA+Tラボラトリー、2020)、「都美セレクション グループ展2019」(東京都美術館ギャラリーB、2019)、「家/ House」(広島芸術センター、広島、2017)。「核廃絶プロジェクトp-now」絵本作りに参加(広島、2011)。主な受賞歴に「ゲンビどこでも企画公募2011展」(広島市現代美術館)秋山祐徳太子賞。

<https://kiskikaoru.myportfolio.com>



### ながらの座・座について

「ながらの座・座」とは三井寺を構成する五つの坊の一つ微妙寺の坊舎だった建物と庭園をさします。築370年余と言われる歴史的価値を評価するとともに、その魅力を今日的な視点から再発見し、創造することの新たな可能性を生み出す「場」の運営と活動の紹介・支援を行なっています。

かつて宗教者から旅芸人・多様な表現者たちの交流の場でもあったといわれる「場」の記憶と、独特な環境と空気感。まだ見ぬ新たな世界観に出会いたいと思った所有者と、その気持ちに共感する多くの人々に支えられて、今日まで守られてきた稀有な場所が「ながらの座・座」です。今日まで生きてきた「場」の力を信じ共感いただける方々のご協力のもとに、文化財を生活の場としても維持と活用に取り組んで行きたいと考えています。

登録有形文化財「橋本家住宅」(元・正蔵坊) / 滋賀県指定名勝(正蔵坊庭園)

### ながらの座・座

〒520-0035 大津市小関町3-10

TEL&FAX 077-522-2926 MOBILE 090-8576-7999(橋本)

<https://nagara-zaza.net/>



- JR 大津より徒歩15分 ● 京阪電鉄京津線「上栄町」より徒歩7分
- 名神高速「大津」または「京都東」より車で5分、またはR1号線→R161号線で。
- コインパーキング「Times 大津日赤前」が座・座から徒歩3分程度のところにあります。21台駐車可能です。